



BIG RADIATOR KIT

OWNER 'S MANUAL

KAWASAKI GPZ900R/750R TYPE-2

シルバー	品番 5057022	JANコード 4538792086347
ブラック	品番 5057022B	JANコード 4538792368597

※ 本製品の内容は 2009 年 06 月現在のものです

090609SHI11

安全にお使い頂くために必ずお読みください

取り扱い説明書

この度は当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の際には、この取り扱い説明書を熟読し、内容を十分にご理解の上で正しい取り付けを行いご使用ください。取り扱い説明書の指示及び警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご注意ください。またこの取り扱い説明書は製品を破棄されるまでお手元に保管しておき、第三者に譲渡される場合は必ずこの取り扱い説明書も譲渡者にお渡しください。



記号は警告、注意を促す内容があることをつけるものです。



記号は禁止の行為であることをつけるものです。



記号は行為を強制する内容をつけるものです。



警告

取り扱いを誤ると死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を表示します。

- エンジン始動中及び停止後はしばらくの間、エンジン、マフラー等は高温になっています。必ず冷間時に作業を行ってください。
(触れると火傷等の負傷を負う恐れがあります)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させた安全な状態で作業を行ってください。
(作業中オートバイが転倒し怪我をする恐れがあります)
- 冷却液は毒性があるため飲用したり、皮膚、目、衣服に付着させないでください。
 - ① 皮膚、衣類に付着した場合 → 石鹸を使用し洗い流してください。
 - ② 目に入った場合 → 多量の清水で十分に洗い流し、専門医の治療を受けてください。
 - ③ 誤って飲んだ場合 → 直ちに吐き出させ、うがいをした後、専門医の治療を受けてください。
- 近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないでください。(火災の原因になります)
- エンジンを始動させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所ではエンジンを始動させないでください。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります)
- 各ボルト及びナットはサービスマニュアルに従い規定トルクを守って締め付けてください。
(締め付け不良はボルト及びナットの破損や緩みの原因となり部品の脱落等につながる恐れがあります)
- 法定速度を厳守し安全運転を心がけてください。(転倒による怪我、死亡事故の原因になります)



注意

取り扱いを誤ると傷害又は物的障害が発生する可能性が想定される内容を表示します。

- 取り付けは技能、知識のある方を対象としております。整備資格のある販売店又は認証工場で行ってください。
(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
- 当社指定車種以外の取り付けは行わないでください。
(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
- お客様による分解や修理、改造、加工は危険ですので行わないでください。修理の際は、お買い上げ販売店または当社にご連絡ください。
(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
- 取り付けの際には、軍手、長袖等で身体を保護し、十分注意してください。
(怪我をする恐れがあります)
- 製品取り付け後は走行前に必ず走行に関する機能が正常であることを確認した上で走行してください。
- 取り付けたボルト及びナットは約 100km 走行後、改めて規定トルクで増し締めを行ってください。また、定期的に各部の増し締めを行ってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し安全な場所に停止して異常箇所の点検を行ってください。
- 冷却液の保管には十分注意し、特に子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
- 冷却液は塗装面、プラスチックやゴム部品などを傷めるので付着させないでください。付着した場合にはすぐに水で洗い流してください。

使用上の注意

- 走行毎に必ず運行前点検を実施してください。
(冷却液漏れは、エンジンの破損・損傷につながります)
- ラジエーター本体の容量が大きくなり、オーバーヒートとなります。水温管理を確実に行ってください。
(水温計等を装着し、適温での運行を行ってください)
- 飛び石等による冷却フィンの変形・損傷は、細いマイナスドライバー等で修正を行ってください。
(冷却機能の低下につながる恐れがあります)
- 飛び石等による塗装剥離は、タッチアップペイント等で補修してください。
(腐食の原因になります)
- 走行していない状態(風の当たっていない状態)での長時間のアイドリング・空ぶかし等を行うとマフラーの発熱によって冷却ファンが変形・損傷する場合がありますのでご注意ください。特にチタン製マフラーの場合は放熱効果が高いためよりご注意ください。
(マフラーに扇風機等を使用して風を送るなどしてください)

作業上の注意

- 冷却液の温度が 100℃以上あると思われる場合は、ラジエーターキャップをむやみに開けると、圧力が低下して急激に冷却液が沸騰し、蒸気が吹き出る事があり大変危険です。温度が低下してからウエス等でキャップを包み、静かに開けてください。
- 冷却液の整備は冷間時に行ってください。
- 取り付け位置は、ノーマルマフラーを基準に設定してあります。マフラーを社外製に交換している場合、マフラーと干渉・接触する恐れがあります。
- 冷却液は真水のみでの使用はしないでください。サービスマニュアルを参照しラジエーター液と上水道水を適正濃度にてご使用ください。
(冷却液の凍結、ラジエーター・エンジンの腐食につながる恐れがあります)
- 冷却液のエア抜きは確実に行ってください。
- 車種によっては別途必要パーツがある場合がございます。必ず車種別取り付け注意事項を参照し、事前にご用意ください。

1. データベース

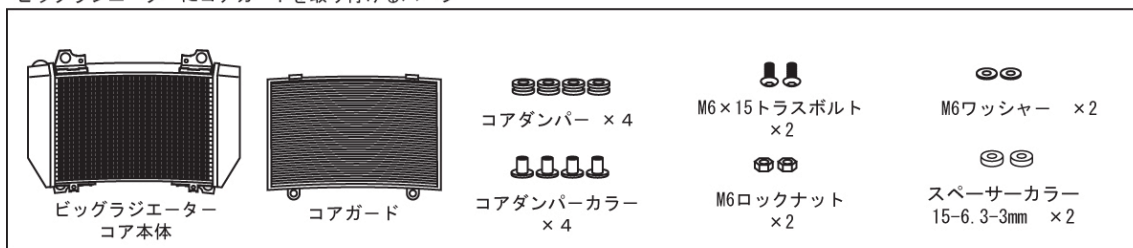
適合車種／年式	GPZ900R / 750R
推奨マフラー	OHNISI HEAT MAGIC Evolution
装着不可パーツ	アンダーカウル・カウルステー・サイドカウル・ ノーマルオイルクーラー
標準取付工数	2.0 h

2. ご用意いただく物

- サービスマニュアル ● ビッグラジエーター用ラウンドオイルクーラーKIT（品番：14037213）
- ホーンステー（品番：1990081）
- エンジンオイル ● クーラント液 ● 保護テープ

3. パーツリスト

ビッグラジエーターにコアガードを取り付けるパーツ



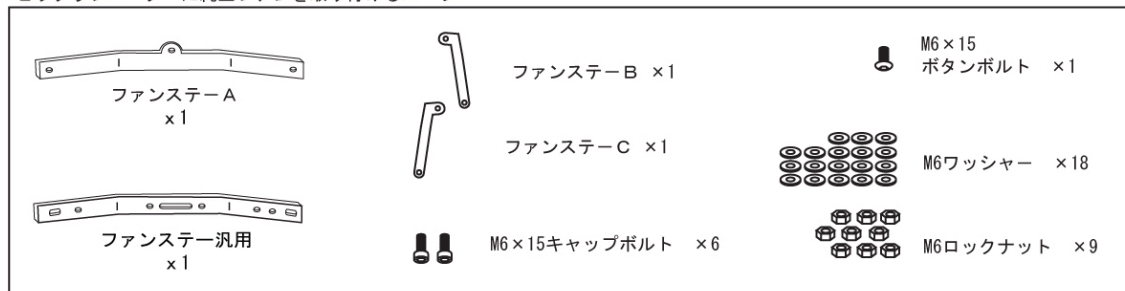
ビッグラジエーターの上ステーを車体に取り付けるパーツ



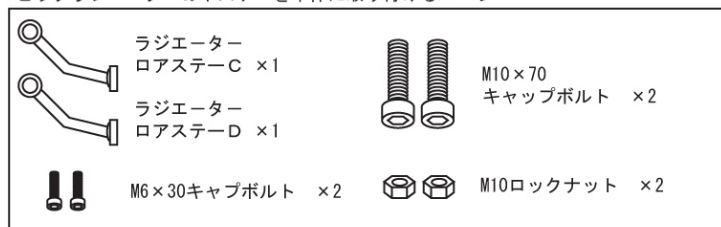
注意事項

フルボトム時にフロントフェンダーが接触する場合があります。フェンダー下端より 30mm 程カットしてください。

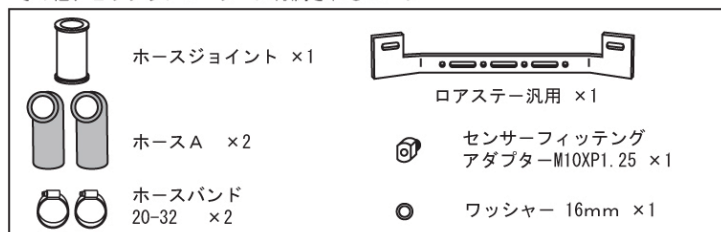
ビッグラジエーターに純正ファンを取り付けるパーツ



ビッグラジエーターの下ステーを車体に取り付けるパーツ



その他、ビッグラジエーターに付属されるパーツ

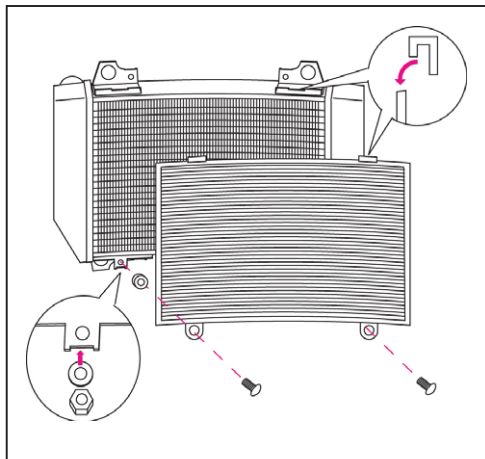


4. 取り付け手順

① ノーマルパーツの取り外し

- アンダーカウル・サイドカウル・アンダーカウルステー・マフラー・ラジエーター・オイルクーラーを取り外します。
- ※ サービスマニュアルを参照し作業を行ってください。

② コアガードの装着

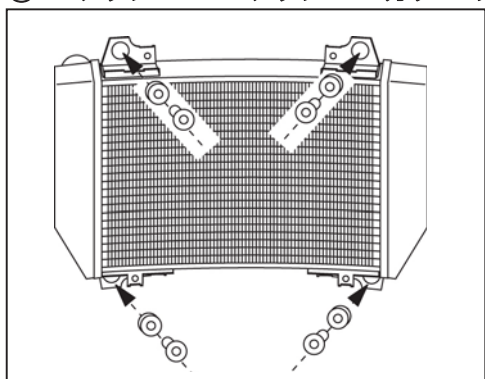


○ ビッグラジエーターにコアガードを取り付けます。

- ※ コアガードのコの字フックをビッグラジエーター上側ステーに引っ掛けます。
- ※ ビッグラジエーター下側ステーとコアガードの間にスペーサーカラーを挟み、M6×15 トラスボルト・M6 ワッシャー・M6 ロックナットで取り付けます。
- ※ 装着済みの場合は締め付け確認を行ってください。

トラスボルトM6X15- 2個・スペーサーカラー(15X6.3X2.0)- 2個
ワッシャーM6- 2個・ロックナットM6- 2個

③ コアダンパー・コアダンパーカラーの装着

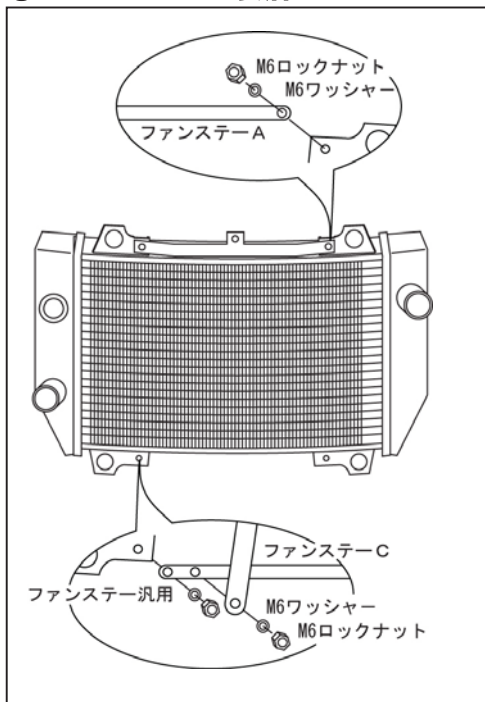


○ ビッグラジエーターにコアダンパー・コアダンパーカラーを取り付けます。

- ※ ビッグラジエーター上下ステーにコアダンパーを取り付けます。
- ※ ビッグラジエーターに取り付けたコアダンパーにコアダンパーカラーを差し込みます。(上下とも前側より差し込んでください)

コアダンパー- 4個・コアダンパーカラー- 4個

④ ファンステーの装着



○ ビッグラジエーター裏側に保護テープを貼り付けます。

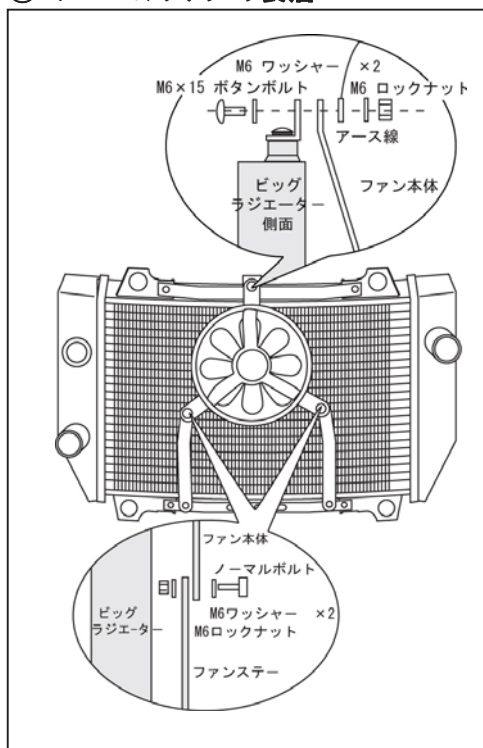
- ※ ファンステー・ノーマルファンの取り付け時等にビッグラジエーターのフィンを破損・変形させないために、必ず保護テープ等でラジエーターを保護してください。

○ ビッグラジエーター裏にファンステーA及びファンステー下を取り付けます。

- ※ ビッグラジエーター上側のコア本体ステー部の裏側にファンステーAを取り付けます。表側より M6×15 キャップボルト・M6 ワッシャー・裏側にM6 ワッシャー・M6 ロックナットで取り付けます。
- ※ ビッグラジエーター下側のコア本体ステー部の裏側にファンステー下を取り付け、ファンステー下にファンステーB・Cを取り付けます。M6×15 キャップボルト・M6 ワッシャー・M6 ロックナットを使用し、仮止めしておきます。
- ※ ファンステーB・Cが一番上になります。

キャップボルトM6X15- 6個・ワッシャーM6- 1 2個・ロックナットM6- 6個

⑤ ノーマルファンの装着



- ファンステー A にノーマルファン上側を取り付けます。

※ M6×15 ボタンボルト・M6 ワッシャー・M6 ロックナットを使用し、ノーマルファン上側を取り付けます。

注意：アース線をファン側に共締めします



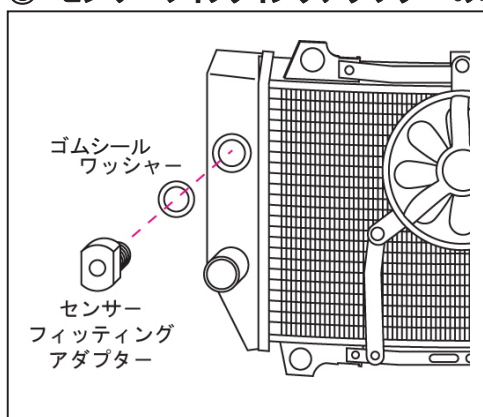
- ファンステー B・C にノーマルファン下側を取り付けます。

※ ノーマルボルト・M6 ワッシャー・M6 ロックナットを使用し、ノーマルファン下側を取り付けます。

※ 仮止め状態のファンステー B・C を本締めします。

ボタンボルト M6X15 - 1 個・ワッシャー M6 - 6 個・ロックナット M6 - 3 個

⑥ センサーフィッティングアダプターの装着



- ビッグラジエーターにセンサーフィッティングアダプターを取り付けます。

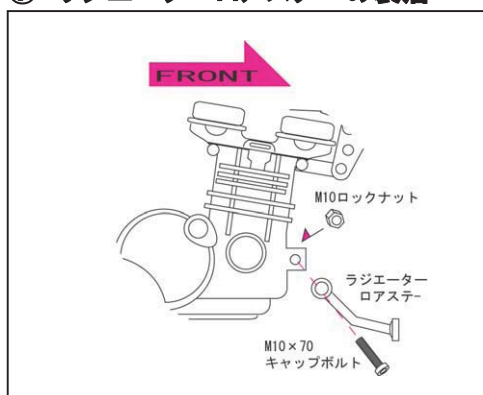
※ センサーフィッティングアダプターにゴムシールワッシャー（16mm）を通し、ビッグラジエーターに取り付けてください。

※ **注意：シールテープ等は使用しないでください。**

※ **注意：潤滑剤を塗布して組み立ててください。**

センサーフィッティングアダプター - 1 個・ワッシャー 16mm - 1 個

⑦ ラジエーターロアスターの装着

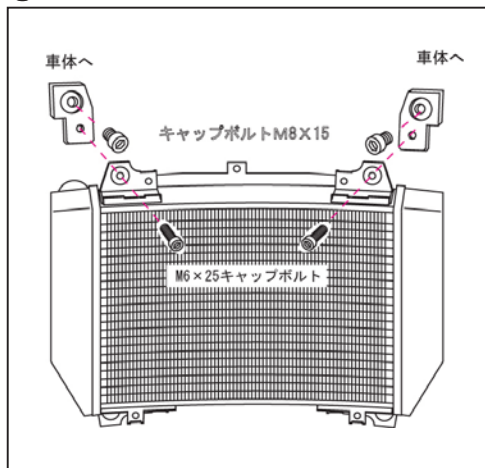


- ラジエーターロアスター C・D を車体に取り付けます。

※ ラジエーターロアスター C・D をそれぞれ車体に M10×70 キャップボルト・M10 ロックナットを使用し取り付けます。

キャップボルト M10X70 - 2 個・ロックナット M10 - 2 個

⑧ ラジエーター・アップパステー・ビッグラジエーターの装着

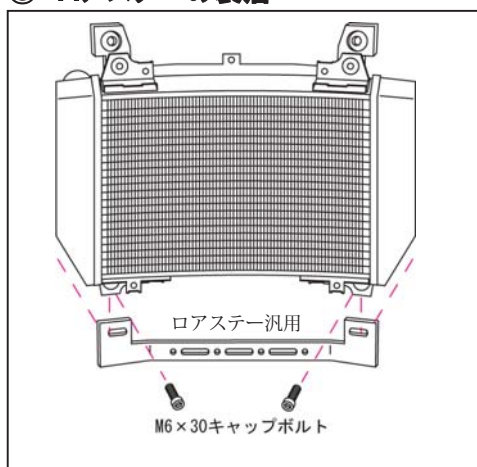


○ ビッグラジエーターを車体に取り付けます。

- ※ ラジエーターアップパステーを M6×25 キャップボルト・M6 ワッシャー・M6 ロックナットを使用し、ビッグラジエーターに取り付けます。
- ※ ラジエーターアップパステーA・Bをそれぞれノーマルラジエーター取り付け位置に M8×15 キャップボルトで取り付けます。

キャップボルトM8X15-2個・キャップボルトM6X25-2個
ワッシャーM6-2個・ロックナットM6-2個

⑨ ロアステーの装着



○ ロアステーを取り付けます。

- ※ M6×30 キャップボルトを使用し、ビッグラジエーターとラジエーターロアステーの間にロアステー汎用を挟み、共締めして取り付けます。

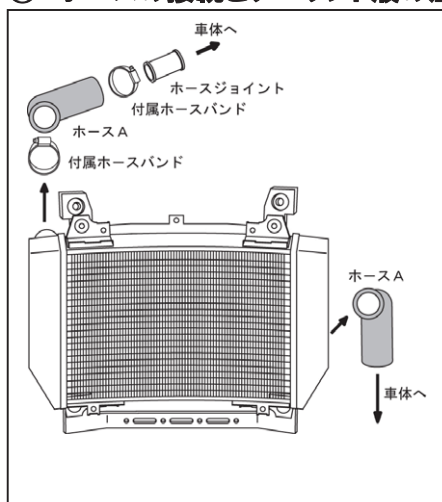
キャップボルトM6X30-2個

⑩ ファン配線・水温センサーの接続

○ ファン配線・水温センサーの接続

- ※ ファン配線を車体側ハーネスと接続してください。
- ※ ノーマル水温センサーをビッグラジエーター水温センサーアダプター部分に取り付けます。(純正O-リング使用のこと)
- ※ 水温センサー配線を車体側ハーネスに接続します。

⑪ ホースの接続とクーラント液の注入



○ コア右上側ホースの接続

(純正ホースにホースAで延長します)

- ※ 付属ホースバンドを使用し、ビッグラジエーターにホースA・ホースジョイントを取り付け、純正ホースバンドを使用し、車体側ノーマルホースに接続します。

○ コア左下側ホースの接続

(純正ホースと交換します)

- ※ 純正ホースバンドを使用し、ビッグラジエーターにホースAを接続し、車体側純正パイプに接続します。

注意：ホースは適度な長さに切って使用してください。

○ クーラント液の注入

- ※ ホースの取り付けを確認し、クーラント液を注入します。
- ※ エア抜き作業を行い、適量のクーラント液が注入されたことを確認してください。

⑫ 確認事項

○ 確認

- ※ オイルクーラー取り付けの際には、オイルクーラーKIT に付属の取扱説明書を参照し作業を行ってください。
- ※ エンジン始動前にクーラント液・エンジンオイルの量が適量であり、漏れが無いことを確認してください。
- ※ エンジン始動前に各個所の作業汚れ等をパーツクリーナー等で脱脂し落としてください。
- ※ 走行前に各ボルト・ナット類の締め付け確認・配線類の接続確認を行ってください。
- ※ 走行前に配線・ケーブル等の接触・干渉が無いこと確認してください。
- ※ 走行前にファンの正常作動・燈火類・電装類の点灯・点滅チェック、ホーンのチェックを行ってください。
- ※ 走行前に再度クーラント液・エンジンオイルの量が適量であり、漏れが無いことを確認してください。
- ※ エンジンを始動し、水温を上げて冷却ファンが作動することを確認してください。

注意：走行していない状態（風の当たっていない状態）での長時間のアイドリング・空ぶかし等を行うとマフラーの発熱によって冷却ファンが変形・損傷する場合がありますのでご注意ください。

特にチタン製マフラーの場合は放熱効果が高いためよりご注意ください。

（マフラーに扇風機等を使用して風を送るなどしてください）

※ 本製品の内容は 2009 年 06 月現在のものです

製品に関するご不明な点やご質問
がございましたらお気軽に当社ま
でお問い合わせください。



〒470-0117 愛知県日進市藤塚七丁目 55 番地
TEL 0561-72-7011（代） FAX0561-72-7012
<http://www.acv.co.jp> E-mail info@acv.co.jp